



その他

マックギル大学から学んだこと（第2報）

高木 タカ子¹⁾

What I Learned at McGill University

Takako TAKAGI¹⁾

1. はじめに

私がマックギル大学看護学校を訪問するようになった経緯は、群馬パース大学紀要2号に記した。

それから5年が経過し私は5回マックギル大学を訪問する機会を得た。

2度目の訪問は平成16年5月31日～6月6日の5泊7日の訪問で、1回目の訪問では知ることの出来なかった大学の授業と実習施設見学に重点をおいた見学研修をさせていただいた。

その中で特に印象に残っている内容を2点取り上げ記したいと思う。

2. マックギル大学の教育方針について

1) 授業とカンファレンス内容と現状

a. 看護学士コースの2年 Symptom Management クラスの授業を見学した。参加学生は40名ほどで、すでに黒板に、臨床症状が5つほど板書されていた。事前にグループができていてその各症状について各人が生死にかかわる症状であるかどうかを判断し、またこれが生死にかかわらないと判断したら、その症状がなぜ生命にかかわらないと判断したのか、その理由とその理由について、各グループごとの代表に発表をさせ、その後担当の講師から一項目ずつ全員に関連質問があった。その質問に対して学生は、指名されると積極的に答えていた。この状況は、まるで日本の小学校の子供の父兄参観風景を見ているようで心から感動した。特に注目したのは、学生の解答の正否にかかわらず、学生全員の意見を聞き一つ一つコメントを与えて学習効果を高める授業内容

であった事である。

b. 大学関連病院実習現場でのカンファレンスの見学を許可され現場体験を経験した。

私が実習場に到着したのは開始10分前であったが学生・担当教授が全員すでに揃っていた。定刻前に私の紹介があり、その後にカンファレンスがスタートした。

カンファレンスのテーマは「授乳について」であったが、特に授乳時の姿勢と新生児の抱き方についての活発な質問があった。どうしてこんなにもそれぞれの学生が事前に勉強してカンファレンスにのぞむのかと、率直に感じた一日であった。日本の看護基礎教育にかかわってきた年月やその後大学教育にかかわって数年、私の今までの体験でこんなに学生が勉強し発言する場を見たことがなかった。新生児への授乳の時、また特に母親が帝王切開術後の授乳には、児のかかえ方においてフットボール抱きがなぜよいかなど、学生が理路整然と発表する態度は本当に真剣であった。その場に参加する学生はすべてがノートを持参しその中にはすでに予習し勉強した要点が記されており、それを持ってその場にのぞみ、主体的にカンファレンスに出席していることがわかりより深い感動を覚えた。カンファレンスは教授が進んで司会進行をおこなっていた。

カンファレンスの教育内容に大変興味を持ち、この担当の教授に「どのように教育計画を立案されているのですか。その教育計画書を拝見させていただきませんか」とお願いしたところ、親切にも「日本にお帰りになるまでに準備しておきますから」との返事をいただき、その後英語の資料をいただいで帰ってきた。自分の専門分野でもあり翻訳したいと

*群馬パース大学保健科学部看護学科前学科長

思い少しずつ読み進めると、さすがに理論を行動に発展させるプロセスで人間の意欲をいかに引き出すかを目標として、すべての大学のカリキュラムが効果的に作製されていることがわかった。その中心には、あくまでも学生が学ぶ主体者であり、その説明が学生にわかりやすく、興味を持てるように、そして具体的に何をどのように学習すればよいかができるように書かれた学習内容となっていた。帰国して自分が学習して理解できたことは、外国でシラバスといわれているものではないか。日本でシラバスと呼ばれているものとは相当に異なると思い、今後の日本の大学での教育のあり方の参考となった。

3. マックギル大学看護ケア内容について ……特に妊婦の看護ケア教育指導方法について

1) 出産前家族の看護例

a. 若き家族のための注意点

学習内容 出産前の家族の看護について (NURI 233(3)マックギル大学指導書より)

(学生への指導内容)

この学習内容はあなたが出産前状態にある妊婦家族を看護する際に、注意しなければならない点をあげると。

- ①この分野の関連書籍を読むことにより得られた社会心理学的知識は、出産前期の家族に生じる生活上の出来事を、あなたがより詳しく知り、理解することが出来ます。
- ②あなた方の基礎知識は、臨床現場での家族とのふれあいにより、豊かにそして拡大します。
- ③この教材は家族を援助するこの時期に、家族が特に必要とする内容です。この本により、それに対応する方法をあなたが理解し、考えを導き出してくれます。
- ④この指導書には、臨床実習時に家族をあなたが、総合的に理解するための道案内として必要な、質問事項、課題、関連書籍内容を含んでいます。
- ⑤あなた方は、教材について話し合ったり、自分の体験を伝えるためにグループ内で作業することを望みます。
- ⑥指示されている質問事項は、それぞれの単位内容をあなたが整理統合するのに、役に立つ案内書となっています。

⑦あなたがこれらの個々の質問に答える事で、カンファレンスや臨床現場の先生との個人指導を受ける基礎知識として、役に立つようなノートの作成を望みます。

⑧これらの内容は臨床検討会の基礎知識として必要となります。

(重要関連必修教科書)

①妊婦—新生児・小児の看護：家族中心の看護ケア

②生涯発達論

③看護の基本：カナダにおける看護実践の基礎
(参考書)

①ウラン先生の幼児および児童看護法

②秋冬期研修の復習教材：研修の理論と基礎

〈追加参考書は授業の中でさまざまな参考書を紹介しながら授業が進められる (高木追記)〉

2) 出産前時期の注意例

a. 妊娠についての注意点

この学習内容はこの授業に出席する前に、あるいは後に予習復習を行なう勉強が必要です。そして詳細な内容については、カンファレンスで議論します。ここでは妊娠という出来事を、受胎から出産までを扱います。この講義では妊娠を扱い、家族全員にとって妊娠が、与える意味を考えるのに役立ちます。

この単元が終了した時点で、以下のことが身に付いています。

- (1) 妊娠が持つ意味や、関係する個人や家族の気持ちを理解できる。
- (2) 妊娠と関連する身体、社会、心理的变化 (人間関係の上で)、これらの変化が個人や家族の生活に、どのような影響を及ぼすか説明ができる。
- (3) 担当する妊婦や家族の現場からのデータを集める基礎的知識として、研究活動にこの内容を応用することができるようになる。

b. 妊娠の意味するところ

赤ちゃんが生まれてくるまでの準備期間に、家族のそれぞれが体験するであろう状況について指示された書物を読んで検討しなさい。

〈授業中にその読み物の紹介と、関連するページが示されてコメントも付いている。(高木追記)〉

3) 病院の出産前実習についての注意例

あなた方は病院の出産前実習において、妊婦や家族から次のような質問に関するデータを集めなさい。またカンファレンスで討論がなされる際に、前もってあなたのグループで話し合いを持って下さい。

a. 出産前の問題点

- ①家族からもたらされる心配事や、気にかけている事、希望があるかどうか。
- ②家族はこの出産にどのように向き合っているか。
- ③家族にとって利用できる方法、手段、支援は何か。
- ④カップルがこの妊娠について話し合う内容を聞きながら、その妊娠はその家族にとってどんな意味があるかどうか（社会的、精神的、財政的、そして文化的側において）。
- ⑤夫婦だけでなく家族全員で準備する必要があることはないか。また子供がすでに家族にいる場合は生まれてくる子供に対して、どんな対応が必要かどうか。

b. その他、追加点

- ①子供が生まれる事により、夫婦の生活費の再考を要する点。
- ②妊娠を知ったときの男性の体験談について。
- ③妊娠した妻を持つ夫としての精神的成長について。
- ④父親としての自覚の持ち方について。
- ⑤ひとりの女性の人生の中で妊娠体験について。
くさまざまな事例の興味ある内容が記載されている（高木追記）

4) 母親に及ぼす生理的变化について

a. 質問内容

- ①妊娠の兆候はどんなものですか。
- ②母親の生理的变化と、これからの胎児の成長に関し、必要とするものは何か。（箇条書きにする）。
- ③妊娠に共通した精神的、肉体的不快感はどんなものがあるか。

〈以上について分娩期、出産後、家族との関係、新生児について詳細に各段階ごとに、学べる学習システムが組み立てられており、今後群馬パース大学においても学生教育に十分役立つ内容となっている（高木追記）〉

4. ま と め

今回のマックギル大学看護学校授業体験からは、本学学生のための教育のあり方を指導する方法を経験できた事は、私にとっての財産となり、この研修をお引き受けいただいたマックギル大学看護学校ディレクターDr スーザン.E. フレンチ、そしてこの機会をお与えいただいた、樋口建介総長、小林功学長及び岡田了三研究所所長に心から感謝申し上げます。